



関川中吹奏楽部の挑戦

- 下越地区吹奏楽コンクール出場を讃えて -

教育長 津野庄一郎

第75回新潟県下越地区吹奏楽コンクールが7月19日と20日の両日、新潟テルサ（新潟市）で開催され、下越地区から43団体が参加しました。関川中学校は2日目の15番目に、小編成版の「元禄」を演奏しました。

本番前は「大きなステージ緊張してしまわないだろうか」「入学して間もない1年生はうまく演奏できるだろうか」と心配もありました。しかし、演奏が始まるとその不安はすぐに消えました。後藤明日子先生の指揮のもと、子どもたちは堂々とした姿で、躍動感あふれる美しいハーモニーをホールいっぱいに響かせてくれました。応援に駆け付けた保護者からも「今までで一番いい演奏でした」と、子どもの成長を喜ぶ声が聞かれました。

結果は「銅賞」。県大会出場には届きませんでしたでしたが、子どもたちが積み重ねてきた努力と、当日の素晴らしい演奏は、まさに「金と同じ価値ある銅賞」だったと思います。子どもたちの頑張りに心から拍手を送りたいと思います。また、これまで親身に指導して下さった後藤先生（部活動顧問兼地域クラブ指導者）をはじめ、教職員の皆さん、卒業生の先輩方、日々子どもたちを支えてくださっている保護者の皆さん、そして会場まで安全に送迎して下さった村バス運転員の方々にも深く感謝申し上げます。

大会プログラムをみると、岩船・村上市地区からの出場は関川中学校のみでした。「部活動の地域展開」が進む中で少し寂しさもありますが、それでも子どもたちが自分の力を発揮し、活躍できる場があることは本当にありがたいことです。もし村民の皆さんにも、この子どもたちの勇姿と演奏をお届けできたら、きっと大きな喜びにつながるだろうと感じています。

<写真：大会会場前の立て看板>